

対馬市



海岸漂着ごみ の現状と対策

市民生活部 環境政策課
令和6年8月1日



CONTENTS

- 01 対馬の海ごみ・・・
- 02 資源循環への道
- 03 海ごみ交流イベント
- 04 企業連携と情報発信
- 05 今後の展開



対馬の海ごみ・・・

海ごみとは・・・

= 我々人によって捨てられた人工物

- 漂流ごみ

：海面や海中を流れにのって漂っているごみ



- 漂着ごみ

：海岸に打ち上げられたごみ



- 海底ごみ

：海底に沈下して堆積したごみ



海ごみの問題点

● 景観等の悪化及び海浜植物の生育阻害



● 海洋生物への悪影響



● 漁業への被害



● ナノプラスチックによる人体への影響



対馬の海岸の現状



対馬の地理的環境

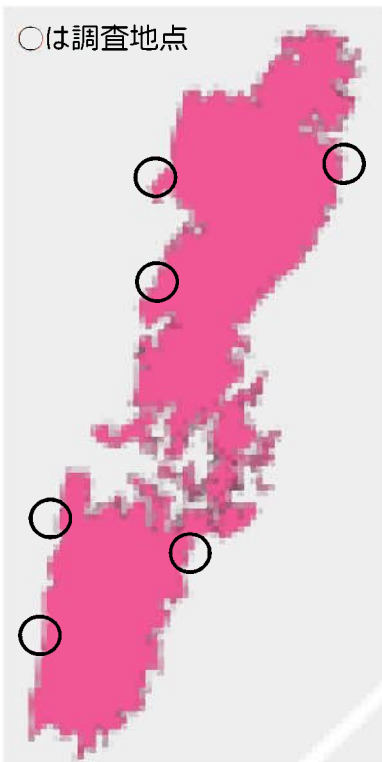


対馬の地理的環境



どんなものが？ どれくらい？ どこから？

現状を知るために、西側の4海岸、東側の2海岸でモニタリング調査を実施。



●どんなものが？

発砲スチロール、漁業用ブイ、ペットボトル、プラスチック製品、漁網、ロープ、加工木、ポリタンク、飲料缶、ビン、ガラス、ライター、電球、金属類、陶磁器、医療系廃棄物など。

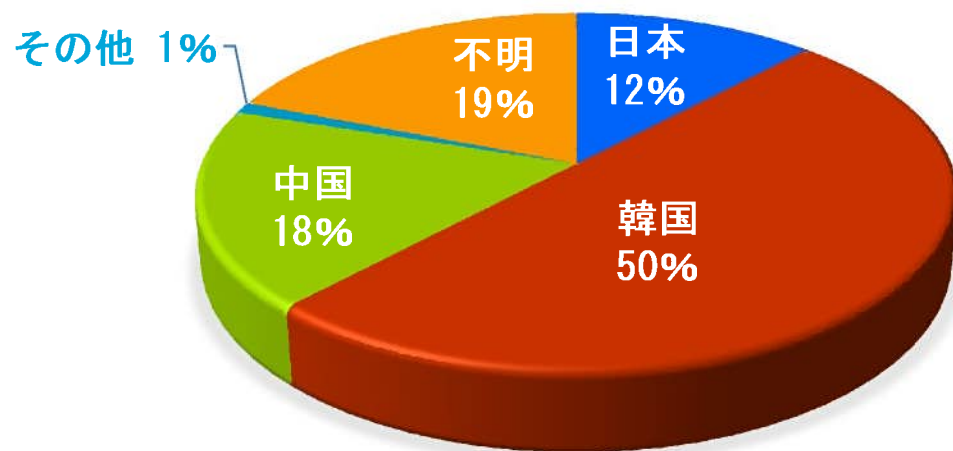
●どれくらい

毎年、**3万m³を超える**様々なごみが流れついていると推計される。

●どこから

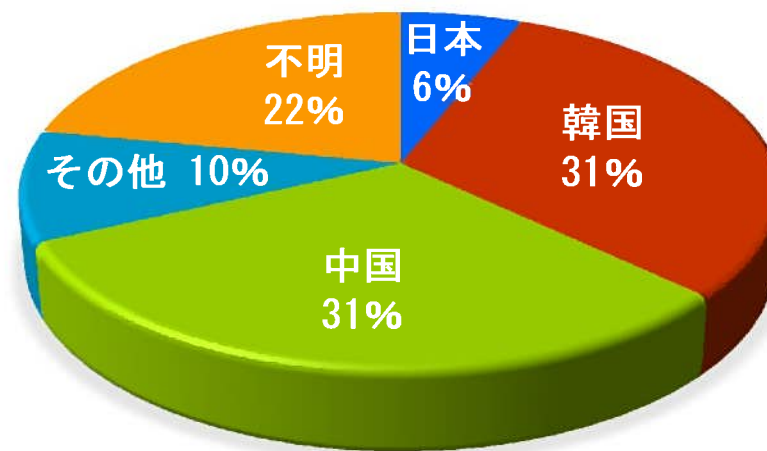
ごみの製造国を判別しやすい**ペットボトルで調査**した結果（R5）、**韓国 31%、中国 31%**と外国由来のものが大半を占めている。
（ラベルやキャップの表記文字・バーコード、キャップやボトルの色調・形状・刻印等から推定）

ペットボトルの国別割合



平成26年度（2014年度）

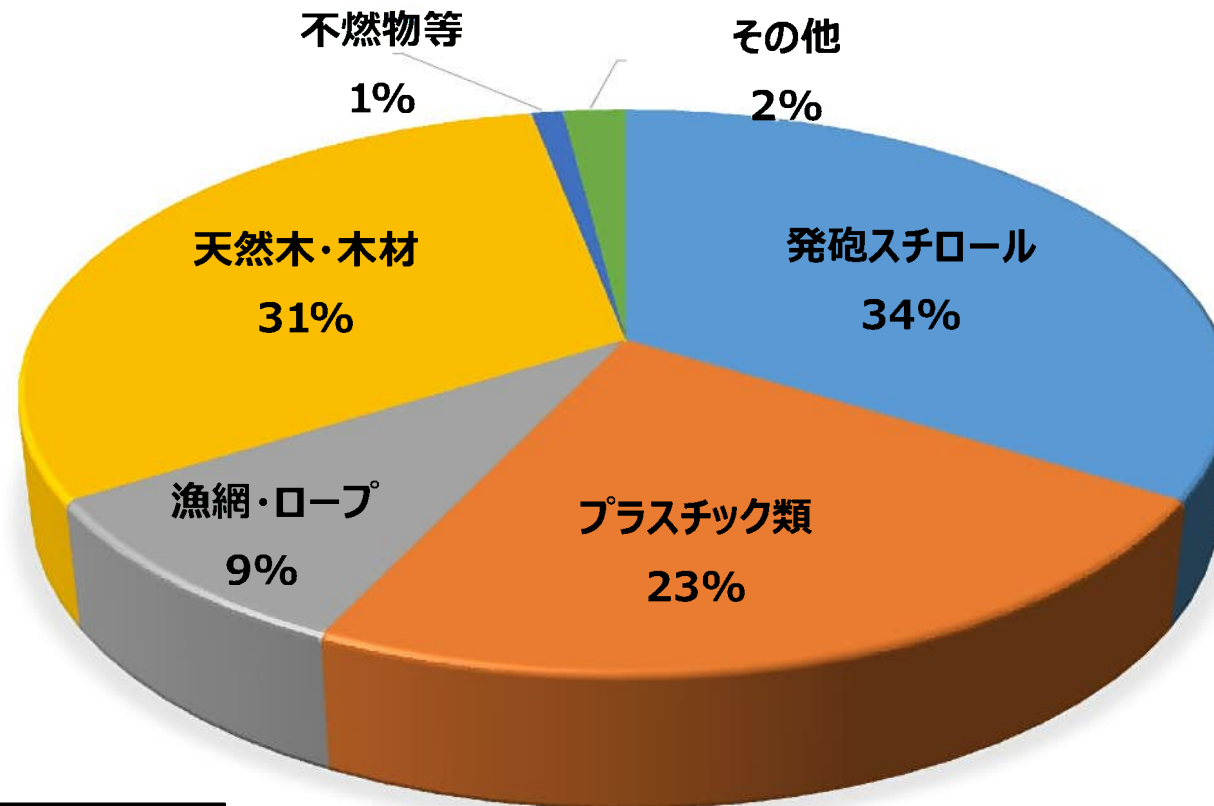
【韓国の割合が50%を占める】



令和5年度（2023年度）

【中国・その他・不明の割合が増加している】

漂着ごみの種類別割合



(2014～2023平均値)

海洋漂着物対策事業の内容



基本事業

回収

分別

処分

リサイクル

付帯事業

発生抑制

イベント

情報発信

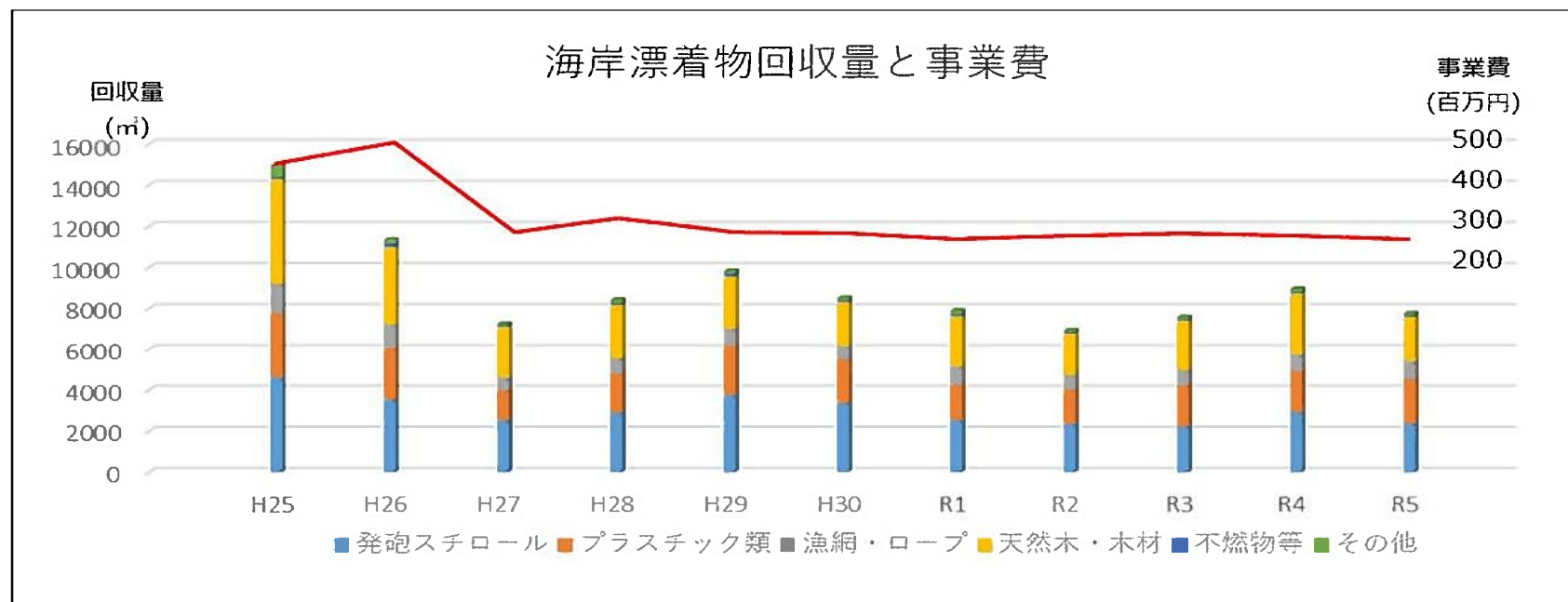
事業の財源と規模

- 平成13年度～単独事業により開始
- 平成16年度～長崎県漂流・漂着ごみ撤去事業補助金（県費）
- 平成22年度～地域グリーンニューディール基金事業（国費）
- 平成25年度～海岸漂着物地域対策推進事業（国費）
- 平成27年度～海岸漂着物等地域対策推進事業（国費）
 - ※国費の補助率は当初は10/10であったが、27年に9.5/10、28年以降9/10に減少
- 近年の事業費は年間約 2 億 8 0 0 0 万円

漂着ごみの 回収量と 全体事業費

【単位：m3】

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
発砲スチロール	4,624	3,554	2,549	2,912	3,771	3,378	2,559	2,358	2,242	2,928	2,386
プラスチック類	3,164	2,513	1,479	1,908	2,410	2,140	1,710	1,685	1,998	2,008	2,165
漁網・ロープ	1,404	1,169	586	753	845	653	923	711	735	813	875
天然木・木材	5,112	3,772	2,506	2,628	2,562	2,161	2,441	2,043	2,446	2,995	2,192
不燃物等	104	162	100	83	139	92	107	75	92	82	87
その他	559	194	42	154	119	110	168	69	85	139	76
合計	14,967	11,364	7,262	8,438	9,846	8,534	7,908	6,941	7,598	8,965	7,781
事業費（千円）	455,000	539,917	292,106	310,934	284,042	285,206	263,315	271,313	284,765	283,363	277,310



漁協・地区住民による回収



回収前



回収状況

毎年約 1 5 0 海岸で実施



回収後



道路がない場所は船で回収

ごみの集積と再選別

発泡スチロール



ポリタンク



漁業用ブイ



かご類



流木・木材

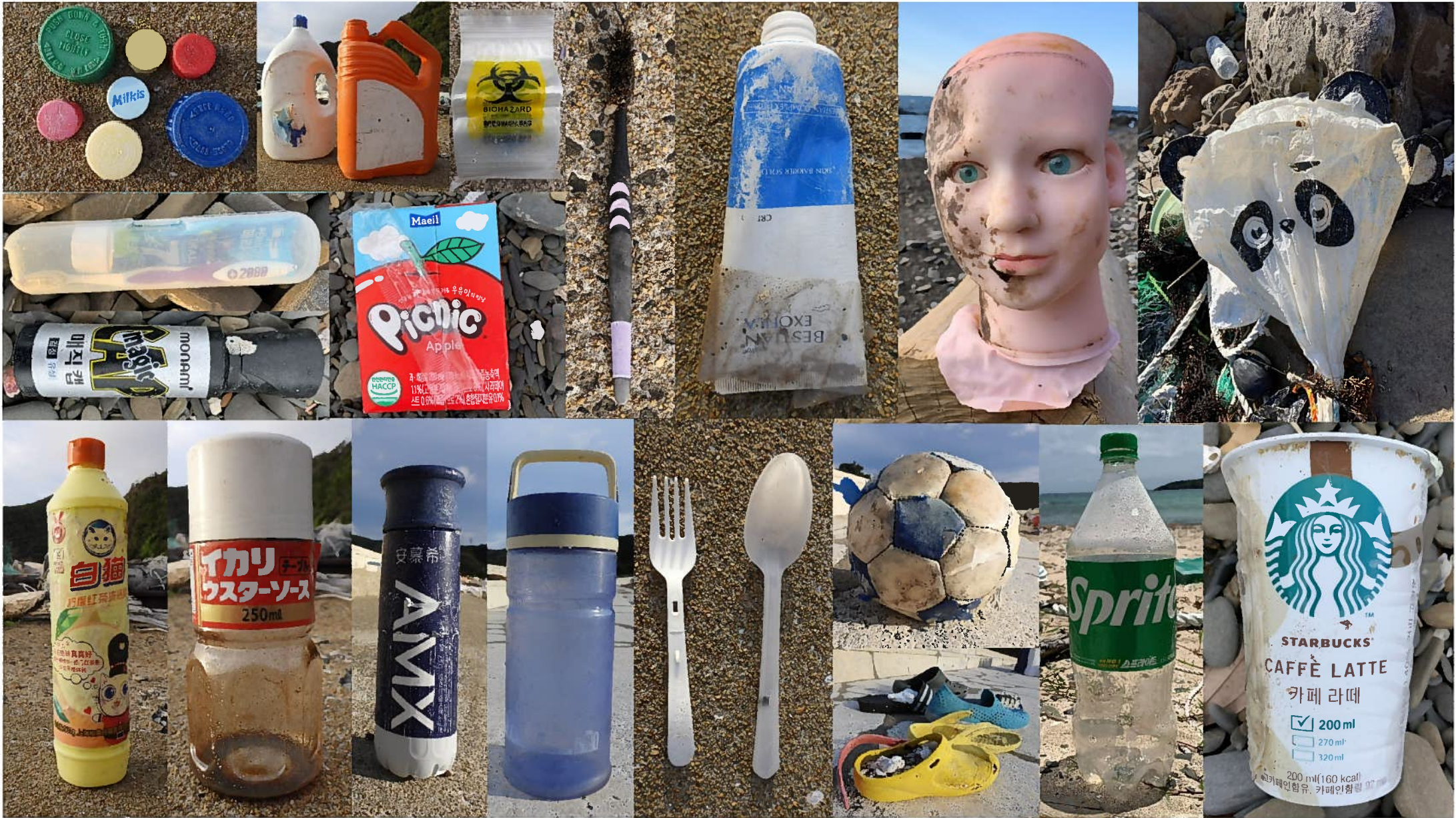


漁網・ロープ



ペットボトル





約7割は海外から

データ: 2023年度、対馬市



インド



ポーランド



キプロス



ロシア



不明



日本



インドネシア



タイ



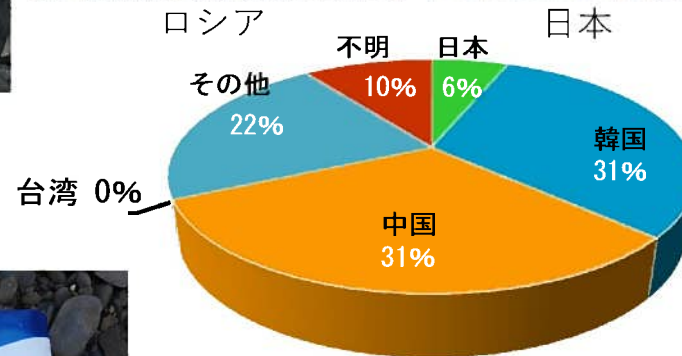
台湾



中国



韓国





資源循環への道

発泡スチロールのペレット化

令和2年度導入



ペットボトルのリサイクル

令和元年
テラサイクルジャパン
約6トン買取



55万本の食器用洗剤容器へ



硬質プラスチックのチップ化

前処理



硬質プラスチックのチップ化

令和3年度導入した破碎機

◆破碎による減量効果

最終処分業者に搬出する量と費用的効果

区 分	平成30年度	令和3年度	効果数値
年間総重量	296 t	231 t	65 t (-22%)
トン袋の数	3,398 袋	2,344 袋	1,054 袋 (-31%)
処理費用	2,864 万円	1,640 万円	1,224 万円 (-42%)

※最終処分の経費は、体積（9,350円／m³）で計算。

漂着プラスチックのリサイクル商品



伊藤忠商事（株）
買い物カゴ



(株)リングスター
バスケットとボックス



사회
김 양식에 염산사용...불법인데도 근절 안되는 까닭은
 海苔養殖に塩酸使用...不法なのに根絶しない理由は



▲ 김 양식장에 뿌린 공업용 염산

부산 장석구에서 김 양식용 하판 장모(51)씨 해 오면 4월 1일부터 부딪힌 양식장에서 염
 산 3천600리터 무단 사용된 혐의에 부산 영도 해양서에 불구속 입건했습니다.

김 양식 과정에서 잡채 해 이물질을 제거하려고 유해화학물질인 무기산(공업용 염산)을 사
 용하다 조판된 어민들 한명이 아니어서 김 양식업자 해 전과자가 아닌 사람이 없다는 말이
 나돌고 있습니다.

정부는 1994년부터 염산을 유해화학물질로 규정해 김 양식에 사용을 금지하긴 대신 유기
 산과 무기산을 합성한 합성 산도 9.5% 수량의 김 양식처리제 사용을 권유했습니다.

IUU漁業??

Illegal(違法)

Unreported(無報告)

Unregulated(無規制)



- 過酸化水素水のポリタンクが回収されずに転売され、塩酸に詰め替えて違法販売されている??
- 塩酸の違法使用の摘発を逃れるため、海に不法投棄??

その他のごみは埋立処分



リサイクル不能な
ごみは、
廃棄物処理



年間約
1800m³
280t



埋立処分場で埋設



海ごみ交流イベント

日韓市民ビーチクリーンアップ事業（海岸清掃）



清掃前



清掃後



日韓市民ビーチクリーンアップ事業（ワークショップ）

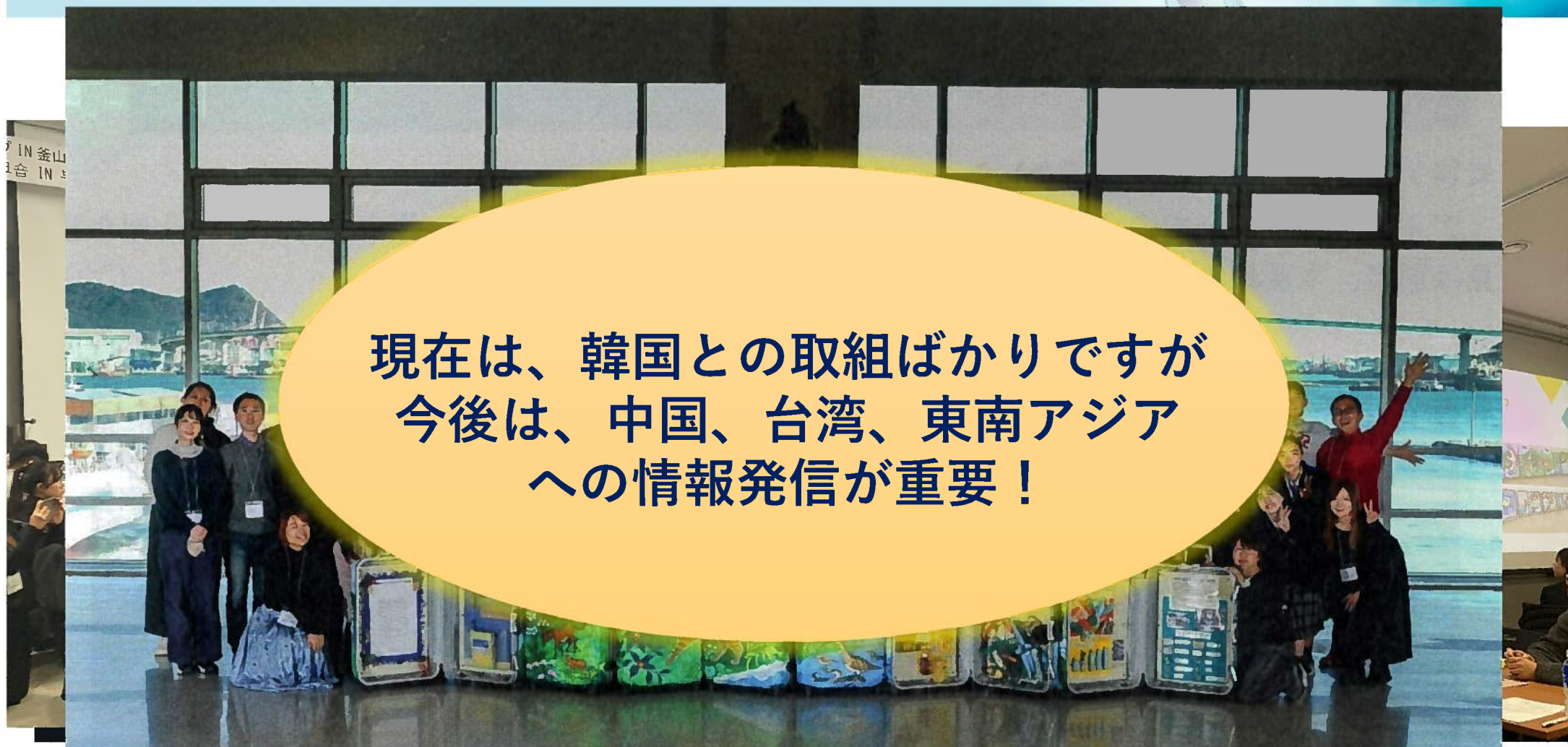


日韓交流海ごみワークショップ in 釜山



日韓交流海ごみワークショップ in 釜山

現在は、韓国との取組ばかりですが
今後は、中国、台湾、東南アジア
への情報発信が重要！



スタディーツアー



海岸にはごみ
が溢れている



ボランティアによる回収
【社会貢献】

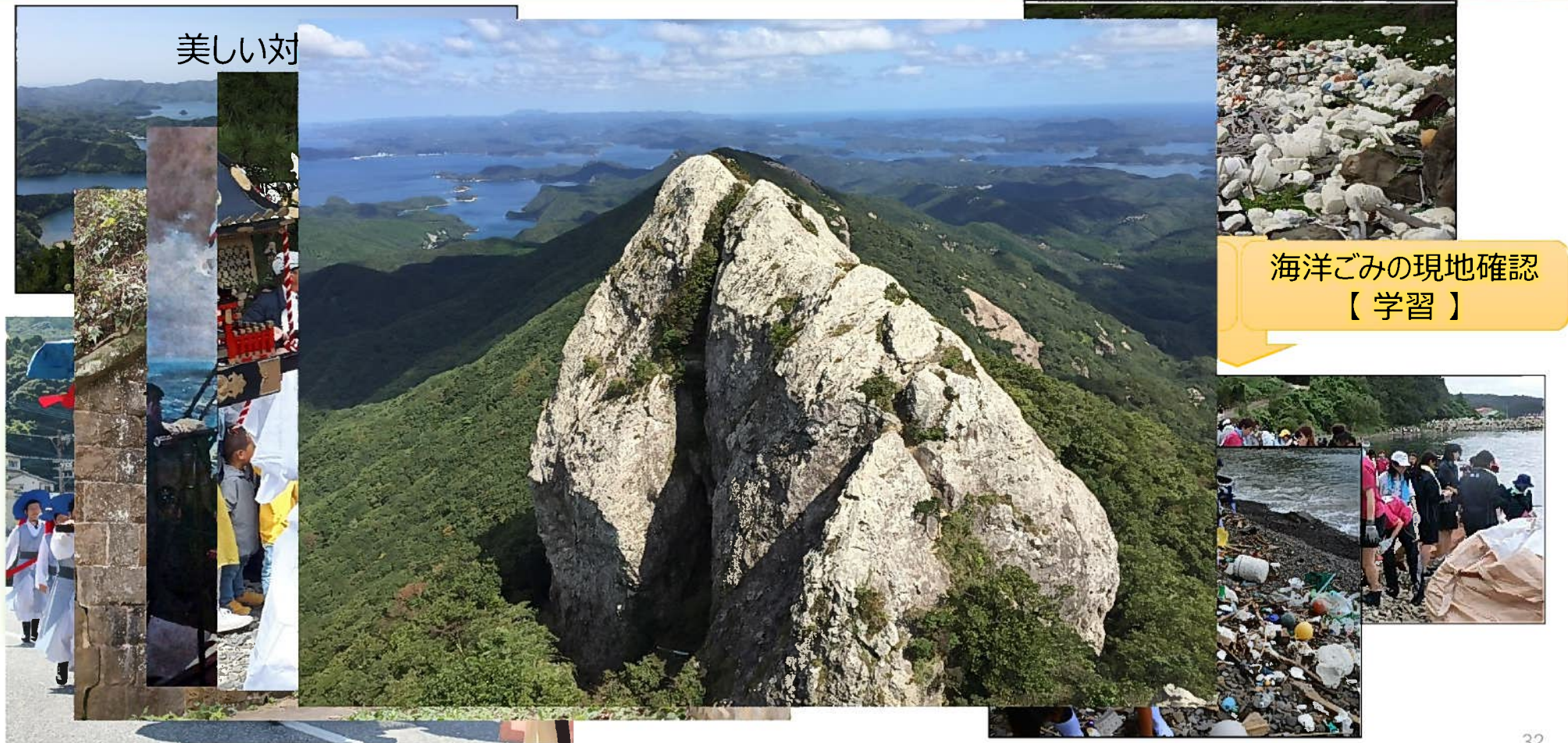
海洋ごみの現地確認
【学習】

対馬の歴史・文化を学び
アクティビティ体験で自然と
触れ合い、食を楽しむ！

コン
テン
ツ



スタディーツアー



美しい対

海洋ごみの現地確認
【学習】



社内研修の場
チームビルド合宿
修学・研修旅行

スタディーツアー

国際ボランティア学生協会
IVUSA（国内の大学生）



クリスチャン環境大学校
(韓国ソウル)



韓国ソウルでの講演



スタディーツアー（関西経済同友会）

2021年から対馬視察を定例化していただき、22年も19名のメンバーにご訪問いただき、海ごみに関する視察と体験をしていただきました。



スタディーツアー（関西経済同友会）

2023年も30名のメンバーにご訪問いただき、海ごみに関する視察と体験をしていただきました。



米国大使・韓国大使海岸視察



2023年12月3日に、ラーム・エマニュエル米国大使及びユンドクミン韓国大使が、対馬の海岸漂着ごみの現状視察のため来訪され、漂着ごみ回収もされました。





企業連携と情報発信

対馬市に漂着したプラスチックを 素材の一部にしたリサイクル商品

P&G ジャパン
食器用洗剤容器



伊藤忠商事（株）
買い物カゴ



（株）リングスター
バスケットとボックス



博多大丸 クリスマスツリー2023



博多大丸
クリスマスツリー2023

対馬の漂着ごみを使った
巨大クリスマスツリーを
天神エルガーラに展示。





いのちをつなぐ

SARAYA



**関西
経済
同友会**

Kansai Association of
Corporate Executives



2022年9月20日に
連携協定締結

対馬モデル（循環経済
モデル）の研究開発

G20大阪ブルー・オー
シャン・ビジョン達成

2025大阪万博ブルー・オー
シャン・ビジョンで成果物発表

2025大阪・関西万博会場イメージ図



**対馬海ごみ
シンポジウム
2023**

海ごみシンポジウムの開催

対馬海ごみシンポジウム2023

参加
無料

テーマ「対馬の美しい海を守るために」
～海岸漂着物問題のこれから～

2023年 7月15日(土)

時間 : 13:00～16:00

場所 : 対馬市交流センター 2階イベントホール

開会セレモニー

講演

【海洋プラスチックごみ問題の現状と取組について】

環境省 水・大気環境局 海洋環境課長 大井通博

【海洋プラスチックごみ問題を切り口としたSDGs未来都市・対馬市の持続可能なしまづくり】

対馬市しまづくり推進部 SDGs推進課 係長 前田 剛

【リサイクルの町から世界の未来をつくる町へ】

鹿児島県大崎町 環境政策課 課長 松元昭二

【対馬モデル案構想の実現に向けて～「海ごみ」から「共創の価値」の創出を目指して～】

(株)関西再資源ネットワーク 代表取締役社長 福田裕司

【ブルーオーシャン・イニシアチブが対馬で目指すもの】

(一社)ブルーオーシャン・イニシアチブ 代表理事 代島裕世

パネルディスカッション

モデレーター: 対馬CAPPA 上野芳喜 代表理事

パネラー: 環境省 大井課長、ブルーオーシャン・イニシアチブ 代島代表理事、九州大学 清野准教授、

IVUSA 葛橋前プロジェクトマネージャー、比田勝市長



主催：対馬市 対馬海ごみシンポジウム2023 後援：環境省、長崎県



西村環境大臣のビデオメッセージ



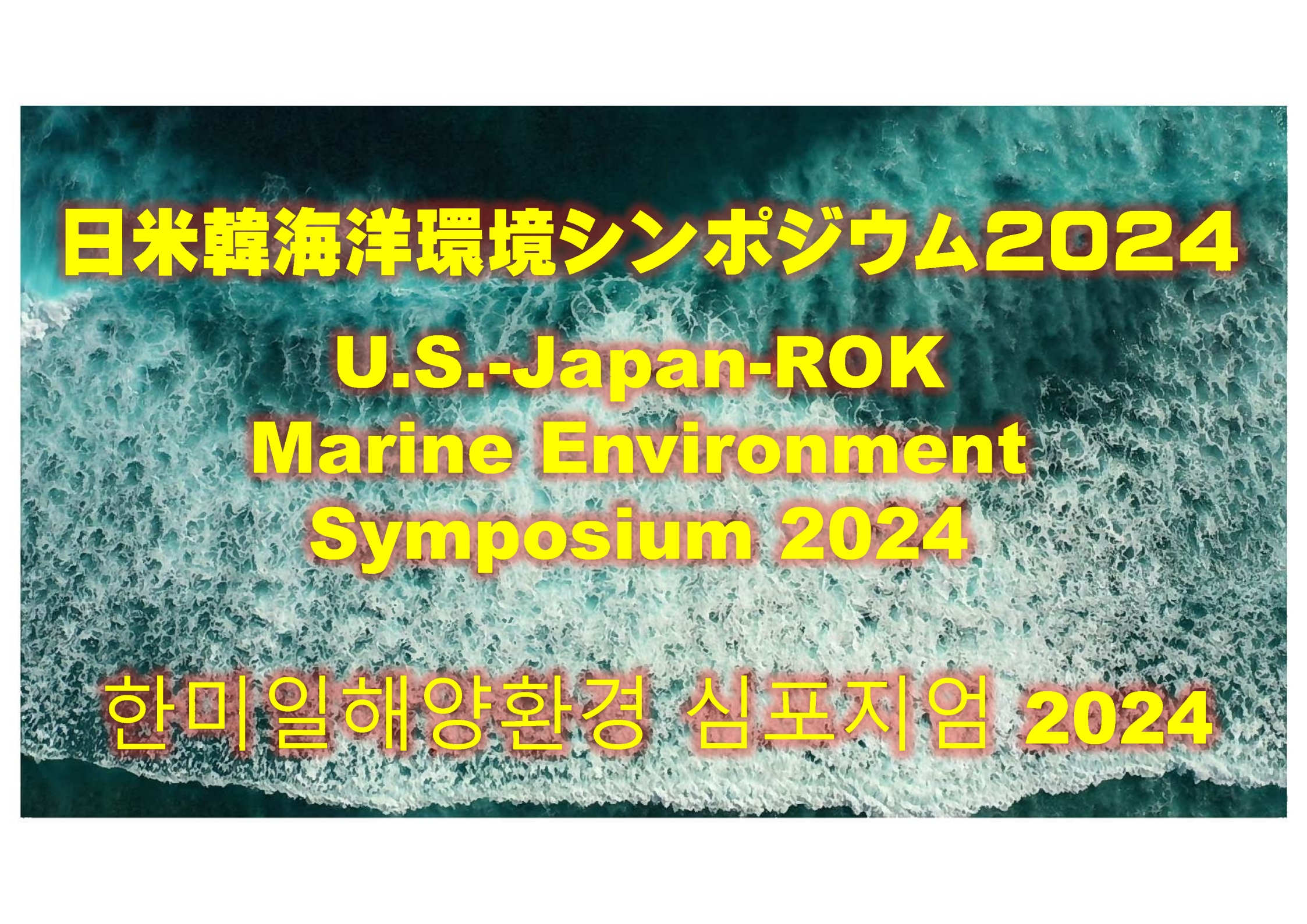
パネルディスカッション



来場者：334人

ネット放送視聴者：800人超





日米韓海洋環境シンポジウム2024

**U.S.-Japan-ROK
Marine Environment
Symposium 2024**

한미일해양환경 심포지엄 2024

日米韓海洋環境シンポジウム2024



7月11日 アクロス福岡 国際会議場



日米韓海洋環境シンポジウム2024



対馬島の漂着ごみの現状とアクション
Current situation of marine plastic waste in
Tsushima Island
and actions
쓰시마 섬의 표착 쓰레기의 실태 및 대응

主催：対馬市

共催：駐福岡大韓民国総領事館
在福岡米国領事館



日米韓海洋環境シンポジウム2024



次世代に残していくのです
and ensure they can be enjoyed by generations to come.

ラーム・エマニュエル米国大使ビデオメッセージ

日米韓海洋環境シンポジウム2024

7月11日 アクロス福岡 国際会議場

来場者数：211名

ネット放送視聴者：400人超



日米韓海洋環境シンポジウム2024



日米韓海洋環境シンポジウム2024

イベント 学生会議
7月10日 福岡アメリカンセンター





今後の展開

今後の展開



- リサイクル商品の拡大(企業連携)
- 対馬モデルの確立(BOT・KSN)
- スタディーツアーの拡大
- INC(プラスチック汚染対策に関する条約策定に向けた
政府間交渉委員会 11/25:釜山)での情報発信
- 大阪・関西万博での情報発信(BOI)
- 回収事業の持続可能な仕組みづくり

ご清聴、ありがとうございました。

